

## 国立大学改革強化推進補助金 【特定支援型】による教員採用について

文部科学省は「国立大学改革プラン」において、優秀な若手・外国人の力で大学力を強化するため、シニア教員から若手・外国人へのポスト振替等を進める意欲的な大学を資金面で積極支援することとしています。新潟大学本部のご協力の下、歯学部では特定支援型「優れた若手研究者の

採用拡大支援」の配分を受け、平成27年3月1日付で特任助教として3名を採用し、同年4月1日付で年俸制教員に移行させました。この3名の教員は前川知樹、川崎勝盛、加藤寛子の3氏で、平成27年度文部科学省特別経費で設置された高度口腔機能教育研究センターに配置されました。

## 部局間交流協定の締結について

歯学部として学生・教員交流によるグローバル人材の育成、共同研究の推進、国際協力・医療貢献活動を念頭におき、外国歯科大学・歯学部と部局間交流協定の締結を推進してきましたが、平成27年6月16日に、前田歯学部長、宮崎副歯学部長と小川准教授（現在、WHO口腔保健統括官として派遣中）がスウェーデン王国・マルメ大学歯学部を訪問し、部局間交流協定を締結しました。

相互の大学・学部紹介の後、学生交流を含めた

姉妹校交流について意見交換、協定締結合意後、両学部長が協定書に署名しました。マルメ大学歯学部はPBL教育で著名であり、その教育手法はマルメモデルとして全世界に知られており、また北欧は口腔保健の分野において世界をリードしているため、歯学科、口腔生命福祉学科学学生のみならず、大学院、教員レベルでの交流が期待されます。



## 平子文科省医学教育課企画官FD講演会について

4月16日に文部科学省高等教育局医学教育課平子企画官をお招きし、「歯学教育の現状と改革の方向性について」との題目でFD講演会を開催しました。講演は現在の歯学教育をとりまく環境、歯学教育の改善・充実、歯学教育分野別認証評価、高等教育改革の最近の動向の4つの視点から構成されていました。

平子企画官からは歯科医療サービスの提供体制の変化について、地域包括ケアや多職種連携の視点も踏まえ、これからの歯科医師には医療、介護に携わる多職種が綿密な連携体制をとり、適切かつシームレスな医療・介護を行う必要があることから、コミュニケーション能力が重要であることや、歯科医師の需給問題について講演いただくとともに、広く国立大学を取り巻く情勢と、大学改革の必要性について、豊富なデータと若手教職員にもわかりやすい講演をいただき、満員の会場からは「多職種連携のため、積極的にコミュニケーションをとっていきたい。」「こ

れからの歯科医師に求められる新たな教育の必要性がわかった。」などの声が多数聞かれました。

講演終了後、歯学部長ら歯学部執行部との意見交換が行われ、その後、新潟大学歯学部が積極的に行っている診療実践型臨床実習の現場を視察し、平子企画官から新潟大学歯学部の学生教育の取組について期待の言葉が述べられました。



## タイ・チェンマイ大学歯学部、インドネシア・インドネシア大学歯学部からの研修について

4月7日にタイ・チェンマイ大学歯学部から6名の訪問団が本学歯学部を訪問し、学部長懇談、高齢者歯科医療および摂食嚥下リハビリテーションについての研修を行った後、チェンマイ大学の高齢者研究プレゼンテーションに引き続いて研究交流について意見交換を行いました。また5月20日にインドネシア・インドネシア大学から歯学部長以下4名の歯学部代表が本学歯学部を訪問し、大学間の学部学生交流

(SS/SV短期留学プログラム) および教員・研究者交流について協議を行いました。



## 新潟高等学校特別講義の開催について

新潟県立新潟高等学校は、「新潟県の医歯学の大学研究施設の訪問研修を通じ、最先端の医療施設、医療技術に関する知見を広げる。また、医師の講演を聴いたり実習体験したりして、高い動機付けを行うとともに、医療に従事する倫理観の涵養を図る」ことを目的として、「新潟大学医学部・歯学部訪問」を実施しています。今回、平成27年8月5日に、同校理数科メディカルコースの高校2年生45名ならびに教諭2名が新潟大学歯学部を訪問しました。

歯学部長の前田健康教授の挨拶の後、微生物感染症学分野の寺尾豊教授による「口の健康と微生物

学：観て考えて」、摂食嚥下リハビリテーション学分野の井上誠教授による「摂食嚥下障害とその治療」の2つの模擬講義が開講されました。また、新潟高等学校出身で新潟大学歯学部歯学科を卒業し、現在、臨床研修医として診療に従事している2名の若手歯科医師から、なぜ歯学部に進学したか、大学生活や将来の夢などについて話がありました。高校生たちは、講義や高校のOBとの懇談を通して、自分の進路や適正について深く考え、将来、医療職を目指す気持ちを新たにしようでした。

(本項 小野和宏教授 執筆)



## 平成27年度オープンキャンパスの開催について

8月10日全学主催のオープンキャンパスが開催されました。当日、32℃を超えるうだるような猛暑の中、県内外から165名の参加者がありました。学部長挨拶のあと、小野学務委員長による全体説

明、寺尾入試委員長による入試説明、井上教授による模擬講義、卒業生による学部紹介、施設等見学が行われました。



## 日本歯科医学教育学会システム開発賞の受賞について

7月10、11日の両日、鹿児島市で開催された第34回日本歯科医学教育学会総会および学術大会において、小田陽平先生（組織再建口腔外科学分野助教）が「診療参加型歯科臨床実習におけるweb公開型eポートフォリオー第2報 運用実績とシステム改善についてー」という演題で口演し、日本歯科医学教育学会システム開発賞を授与されました。本研究内容は本学で独自に開発した電子ポートフォリオに関するもので、臨床実習において「何をやったか」だけではなく、そこから何を学び、何を考え、どのような学習をしたか、また、

それに対して教員からどのような指導を受けたか等の「コンテンツ」を実体化し、さらに電子化、データベース化して蓄積することにより、検索や振り返り学習に役立てようとする新潟大学歯学部オリジナルの特色ある取り組みです。診療参加型臨床実習のさらなる充実が叫ばれている昨今、全国の歯学教育関係者から注目されることとなりました。なお、この電子ポートフォリオシステムは2013年度から運用を開始し、現在に至るまで歯学科および口腔生命福祉学科の臨床実習で活用されています。

## 歯学部納涼会の開催について

7月22日（水）にホテルオークラ新潟において恒例の歯学部納涼会が開催されました。この会は数年前までは教授会納涼会として開催されていたものですが、助講師会、助教会の先生方にも参加を呼びかけ、一昨年からは大学院学生にも拡大し、本年は総勢97名の参加者となりました。教員、大学院生の親睦を深めるため席順は抽選とし、短い時間ながら職種を超えた会話が進み、有意義なひとときを過ごすことができました。

